



6月は環境月間・6月5日は環境の日

今回は、「環境の日・環境月間」のお話です。

環境保護や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが推進される期間です。この月は、環境に関する様々なイベントやキャンペーンが世界中で開催され、環境問題への関心を高める機会となります。そこで、キャンペーンをきっかけに、なにか始めてみませんか。

日本では、環境省の呼びかけで、環境の日「#環境の日」はグリーン」を標語として、東京スカイツリー、レインボーブリッジ、東京都庁など日本各地のランドマークがグリーンにライトアップされます。

【私たちにできること】

- 地域の清掃活動
- 家庭での節電
- テレビやドライヤーの利用時間を減らす
- 地産地消を心がける など



関連 URL 環境省 環境省公式 X
https://twitter.com/kankyo_Jpn
「デコ活」
<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>
「脱炭素ポータル」
https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/

認知症地域支援推進員のつぶやき No.82

急なものの忘れ…、その裏に病気が潜んでいることも

先日あった 80 代男性のお話です。

今まで一人で生活していましたが、何も出来なくなったから施設に入りたいと民生委員と共に役場に来られました。身体はお元気でしたが、認知機能の低下からか会話がかみ合いません。そのため遠方の娘様に状況を伝えたところ、1カ月前に会った時との違いに驚き、信じられないという様子でした。

翌日、その娘様から連絡が入り「思っていた以上に認知機能が低下しており施設に入所させたい」「昨日の夕方、自分でかかりつけの病院へ行こうと電車に乗って駅まで行ったが、分からなくなり改札口を出入りしていた所を呼び止められ警察から連絡が来て迎えに行った」とも話していました。娘様が本人の所に来ていたため、まずは病院受診を勧めた結果、脳梗塞の診断でその日のうちに緊急入院となりました。

このケースは脳細胞に十分な血液が送られず認知症が悪化する血管性認知症になります。このように症状が進行した場合、何らかの原因が隠れている可能性があります。認知症は早期診断・早期治療が大切です。いつも関わっている家族や近所の方は特に本人の変化に気付きやすいので、定期的に様子をみていくと共に、変化があった時はまず病院を受診してください。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- | | | | |
|----------------|----------|---------------|----------|
| ●利根町地域包括支援センター | ☎68-2211 | ●利根町保健福祉センター | ☎68-8291 |
| ●複合福祉施設 響 | ☎61-8500 | ●介護老人保健施設もえぎ野 | ☎84-6081 |

地域おこし協力隊通信



50m ダッシュ記録会の様子



朝ランの風景



子ヤギのヒガモン



田井隊員

おかげさまで3月30日に「第5回走りの教室」50m ダッシュ記録会(写真①)を開催することができました。ありがとうございました！合計13名、幼児から60代の方まで、利根町の桜をバックに元気よく走る姿に感動しました。今年度も引き続きパワーアップした走りの教室を、毎月開催していきたいと思っています！（詳細はリーバーや小学校の掲示をご確認ください）走りの教室やスポーツ関連事業を通じて利根町へ貢献していきたいと思っています。引き続きのご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

「走る協力隊」稲垣鉄平です。4月のマラソンに向けて毎朝走っていますが、今年に入り2度も脚を故障してしまい継続した練習ができていません。休養（ケア）不足が原因かも……。健康には「運動・休養・栄養」の3要素が大切！皆さんも日常の中で意識してみませんか？自分ももう少し生活習慣を見直して怪我予防をしたいと思います。

毎月第1・第3土曜の朝に開催しているグッドモーニングスロラン&ウォークも健康・運動の習慣づくりにぜひご活用ください。
追伸：写真②は4/5に開催した朝ランの風景です。参加いただいた皆さんとお花見ランを満喫しました。



稲垣隊員



藤田隊員

こんにちは！空き家担当、藤田です。農家住宅（農家さんの空き家）の活用について考える日々ですが、最近、私自身もようやく田植えや野菜の作付けの準備を始めました。ヤギやニワトリも飼いはじめ、空き家を活用した農的な暮らしを実践中です。ヤギを飼ってから、近隣や町の方々がよくうちに遊びに来てくれるようになりました。特に子ヤギのヒガモン（東文間から命名）(写真③)が産まれてからは、毎日のように来客があり、まさかヤギをきっかけに、町内の方との交流がこんなに増えるなんて、と嬉しく思ってます。今後は「空き家」や「農業」に関するイベントも開催いたしますので、ぜひチェックなさってください！

空き家コーディネーターの「ドゥーさん」こと安藤です。地域おこし協力隊のミッションでもありますが、「空き家の活用事例の創出」として、空き家利活用PJを進めております。実際に空き家を借りて、片付けから修繕まで自身で行い、感じたことや思ったことなどを情報発信出来ればと思っています。現在、片付け真っ只中ではありますが、徐々に生まれ変わっていく空き家の完成を、皆さん楽しみにしててください。ちなみに拠点の名称に悩んでおります。利根町らしく、親しみやすい名称を付けたいと考えておりますので、いい案がありましたらご連絡ください。お待ちしております。



安藤隊員